

カトリック河原町教会だより

2023年7・8月

教皇フランシスコ 第109回「世界難民移住移動者の日」教皇メッセージ（抜粋）

2023年9月24日 移住かとどまるかを選択する自由

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

この時代の移住移動者の流れは、複雑で複合的な現象の表出です。「離れる自由、とどまる自由」、これは、現代の移民難民の課題に対する具体的対応として、数年前にイタリア司教協議会が始めた連帯事業の名称です。聖家族のエジプトへの避難は、自由な選択の結果ではありません。イスラエルの民の歴史に刻まれる移住移動も、少なからずそうであったのと同じです。

移住はすべて自由な選択であるべきですが、実際のところその多くが、今日においてもそうではありません。紛争や自然災害、あるいは平たくいって尊厳ある健やかな生活を生まれ故郷では送ることができないために、途方もない数の人が国を離れざるをえない事態にあります。2003年の時点で聖ヨハネ・パウロ二世は、次のように断言しています。「移民と難民のために平和的状况を築くには、まず、移民しない権利、すなわち母国に平和と威厳をもって住む権利の保護に真剣に取り組まなくてはなりません」（「2004年世界難民移住移動者の日教皇メッセージ(2003年12月)」-3)。

現代のやむにやまれぬ移住の明らかな要因には、迫害、戦争、気象現象、貧困があります。こうした原因を根絶し、やむにやまれぬ移住に終止符を打つには、わたしたち全員が、おのおのの責任に応じて、それぞれが協力して行う取り組みが求められます。すべての人が、移住せずに生きられる権利、つまり、自分の故郷で平和に尊厳をもって暮らせる見込みが得られるよう、各国と国際社会による共同の取り組みが必要です。生まれた国であろうと、よその国であろうと、わたしたちが未来を築こうと決めた場所がどこであったとしても、重要なのは、分け隔てなく、だれをも迎え入れ、守り、励まし、溶け込めるようにする用意のある地域共同体がそこに必ずあるということです。

教会としてわたしたちが歩んでいるシドスの旅は、もっとも弱い立場にある人々一大勢の移住者や難民もそこにいます—を、兄弟姉妹として愛を注ぎ配慮すべき、旅路の特別な仲間と見るよう促しています。ともに歩むことによるのみ、わたしたちは遠くまで行くことができ、旅の同じ目的地へと至ることができるのです。

教会の様子(Instagramより)



京都教区（河原町教会）への自己紹介

私は、クラレチアン会のステファノ・グエン・バン・ナンです。ベトナムで生まれ、8人兄弟のカトリック家族に生まれました。2019年7月16日に司祭に叙階されました。皆さんの祈りに支えられて、司祭になった者です。本当に心から感謝いたします。宣教師にとって、一番嬉しいことは使命のために、他の国に派遣されることです。神様の溢れる愛によって、当時クラレチアン会の総長だったヨゼフ・アベイヤ司教様は、まだ神学生の私を選び、日本に送って下さいました。私にとって日本は、世界で一番きれいで治安のよい国です。また、日本の方はとても優しいので、日本に派遣され、私は本当に感謝の気持ちで嬉しかったです。

しかし、それからの私にとって大問題は日本語がとても難しいことでした。実は数カ月日本語を勉強した後、髪がたくさん白くなりましたが、なかなか上手になりませんでした。このため、日本への召命を一時は諦めかけました。フィリピン管区に戻るかどうかを考えていた時、私の心に御言葉が浮かびました。「イエスについて来たいものは自分を捨て、日々、自分の十字架を背負ってイエスに従いなさい」。このみ言葉を通して、私は自分の楽しいこと、楽なことのためではなく、皆さまの幸せを探すために、日本に来たのだと思いました。そして、皆様への愛情から苦しむことは、私の喜びになると思いました。ですから、洛東ブロックで日本の方にもベトナム人にも仕えることが出来、嬉しかったり、感謝の気持ちで一杯です。

ナン神父様は現在、主日と週日のミサの司式、レジオの指導等で活躍されています。尚、故郷の教区では神父の志願者が多く（毎年二百人）、その理由は皆の尊敬の対象でありその家族もとても尊敬されるそうです。また叙階を家族、親戚、ご近所が集まり初ミサ（3回）とパーティーを開いてお祝いしたそうです。（一回千人以上）



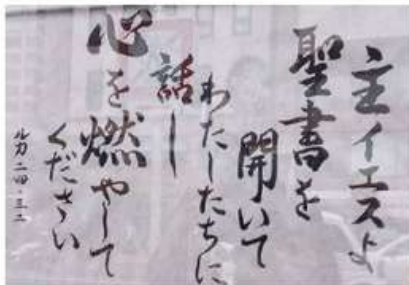
パウロ大塚喜直司教様霊名のお祝いとチェジュ教区交流感謝ミサ

6月25日 10:30 からパウロ大塚喜直司教様の霊名のお祝い（6月29日 聖パウロ使徒）とチェジュ教区交流感謝ミサが大塚司教様、ヒョン・ヨ アン神父様(本部事務局長)、イ・ウォンギョ神父様(1月叙階新司祭)、ホン神父様(山城ブロック)の共同司式により和やかな雰囲気の中に執り行われました。



シスターテッシー霊名のお祝い集会祭儀

7月22日 18:30 の集会祭儀の中でシスターテッシーの霊名(7月26日聖アンナの祝日)のお祝いが和やかな雰囲気の中、行われました。



河原町通り門の掲示板 みことばの聖句



レジオ・マリエの活動の様子

毎週金曜日 11時からナン神父様をお迎えしてお祈りと集会を行っています。見学ご希望の方は事務室までお越しください。



教会のパンフレットが新しくなりました



2023年8月～10月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
8	6	日	主の変容 第16回戦争と平和写真展 日本カトリック平和旬間(～15日)
	8-10	火-木	土曜学校錬成会
	13	日	[年間第19主日]
	15	火	聖母の被昇天ミサ 7:00、10:30
	20	日	[年間第20主日]
9	27	日	[年間第21主日]
	1	金	すべてのいのちを守るための月間(～10月4日)
	3	日	[年間第22主日] 被造物を大切にす世界祈願日
	10	日	[年間第23主日]
	14	木	十字架称賛
	17	日	[年間第24主日] 敬老感謝ミサ 10:30
10	24	日	[年間第25主日] 世界難民移住移動者の日(献金)
	1	日	[年間第26主日] 10:00 ロザリオの祈り
	8	日	[年間第27主日] 10:00 ロザリオの祈り
	15	日	[年間第28主日] 10:00 ロザリオの祈り
	22	日	[年間第29主日] 10:00 ロザリオの祈り 世界宣教の日(献金)
	29	日	[年間第30主日] 10:00 ロザリオの祈り



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第2第4のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

金曜日 10:30

最新の情報はウェブサイト参照

講座の時間(休講の日も有り)

(聖体顕示式以外は8月は休講)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

「キリスト教とは何か」

キリスト教入門講座

土曜日 16:00

(Sr.テッシーのチーム)

「こころにひかりを」

養成講座(信徒・一般向け)

読書会

「イエス・キリストの言葉」読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

要理通読会

「カトリック教会のカテキズム
要約」の通読

木曜日 11:30(菅原神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.テッシー)

聖体顕示式

第3土曜日 15:15(菅原神父)

「ガラテヤ書」を読む

第1土曜日 19:20(菅原神父)

「マルコ福音書」を読む

第2日曜日 11:40(菅原神父)

「これから洗礼を受けられる方
向け」は事務室かrakuto.nyumon.class@gmail.co
m まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2023.7・8 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>